

国立大学法人大阪大学

・取り組み名称

いのち輝く未来社会を実現するための「大阪いのち宣言」の策定、発信

・取り組み概要

全学をあげて大阪・関西万博に参加する体制を整えるため、「大阪大学 2025 年日本国際博覧会推進委員会」を立ち上げ、当該委員会のもとに、「いのち部会」、「先端技術体験部会」、「学生部会」及び「国際部会」を設置し、下記取り組みを行っており、共創チャレンジづくりやその活動を応援します。

・「いのち部会」は、SDGs の達成に向けて、さらには SDGs 後の社会も見据えて、一人一人が何を為すべきかを広く市民と対話し、アジェンダのような形にして世界に発信する、いわばソフト・レガシーの形成に携わります。

・「先端技術体験部会」は、医療・情報・ロボット工学等、学内の優れた研究成果を用い、産業界との連携も活かして万博来場者に先端技術を実際に体験していただくことに貢献します。

・「学生部会」は、学生たちの参加を促し、「いのち輝く未来社会」を自発的にデザインする取り組みを支援します。

・「国際部会」は、本学の戦略的パートナーである海外の有力な 6 大学（ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、上海交通大学、グローニンゲン大学、マヒドン大学、プリティッシュコロンビア大学、カリフォルニア大学デービス校）を核として、社会課題の解決を目指した国際連携を強化し、協働による研究成果等を世界に向けて発信します。

・未来への宣言

SDGs を人類の未来を構想するための重要な道標と位置づけ、17 のゴールの達成に貢献するだけでなく、2025 年の大阪・関西万博において、共創パートナーや共創チャレンジとともに、「誰一人取り残さない」に向けての社会的機運を教育研究機関として巻き起こし、2030 年には「誰一人取り残さない」、2050 年には「いのち輝く」未来社会を目指します。

・提供できるリソース

リソース	内容
情報発信・PR	SDGs を意識した教育研究活動について、本学ウェブサイトで発信します。
ネットワーク	活動を通じて関わる企業や大学・研究機関等多数あります。
技術・ノウハウ	SDGs を意識した教育研究活動事例が多数あります。

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

これまでの社会との共創をベースとしながらも、SDGs という世界共通のプラットフォームを通して、また、ダイバーシティ&インクルージョンの立場に立ち、産業界や自治体にとどまらず、経済団体や国際機関、NPO 法人、国の機関、さらには市民にいたる多様な主体との共創へとネットワークを広げ、科学技術・学術の進展を図り、未来を担う人材を育成し、社会の安寧と福祉、世界平和、人類と自然環境の調和といった様々な共創チャレンジと連携していきます。

さらに「学生部会」の「誰もが演奏できる新電子楽器 合奏通して世界と交流」、「国際部会」の「戦略的パートナーと目指す社会課題解決（仮題）」、医学系研究科の「赤ちゃんとの対面システム」、工学研究科の「プラスチック愛プロジェクト」及び接合科学研究所の「感染予防も含めたスマートカントリー構想」等

といった学内の様々な取り組みを共創チャレンジとして登録し、支援していく予定です。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

本学が有するシンクタンク「社会ソリューションイニシアティブ」(SSI) や本学が大阪・関西万博に参加する体制を整えるために設置した「いのち部会」、「先端技術体験部会」、「学生部会」及び「国際部会」の活動、さらには、関西 SDGs プラットフォーム・大学分科会の活動を通じて、共創チャレンジの創出やその活動を応援します。

・共創していきたい方々

産業界や自治体にとどまらず、経済団体や国際機関、NPO 法人、関西 SDGs プラットフォーム、大学・研究機関、さらには市民にいたる多様な主体との共創へとネットワークを広げたいと考えています。